

三菱総合研究所、GGGI と協力覚書を締結 GCC と ASEAN 諸国の気候変動対策で連携

株式会社三菱総合研究所(代表取締役社長:藪田健二、以下 MRI)は、世界 48 カ国が加盟し、低炭素で持続可能な経済成長を促進するための政策アドバイスや技術支援を通じて、グリーン成長計画、政策や規制の策定、グリーン投資の促進、能力開発および知識共有に取り組む国際機関 Global Green Growth Institute (Director General: Frank Rijsberman、以下 GGGI)と、GCC(湾岸協力会議)および ASEAN(東南アジア諸国連合)各国の持続可能な開発に関する2030アジェンダならびにパリ協定の達成に向けた支援で連携することに合意し、カタール国での連携に着手しました。



1. 背景

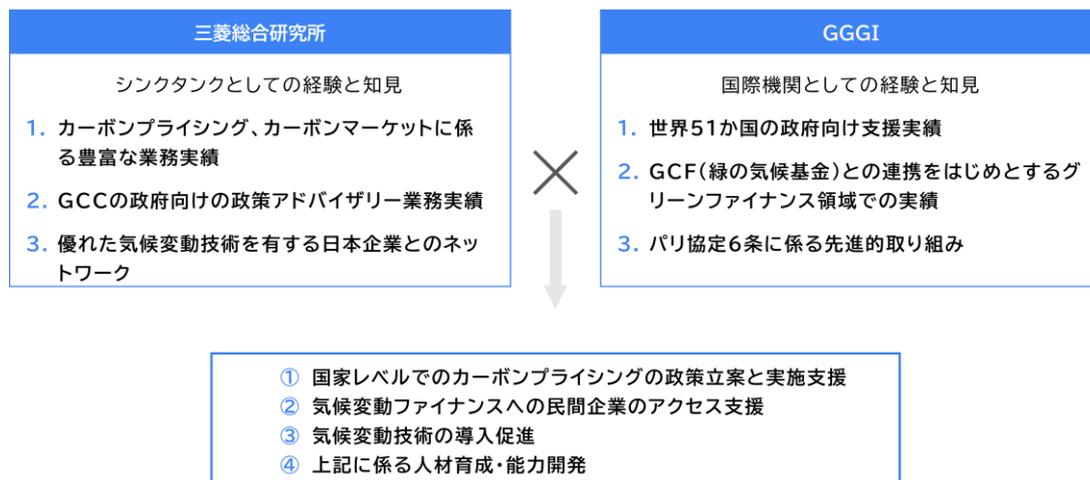
気候変動対策に関するパリ協定では「世界的な平均気温上昇を産業革命以前に比べて 2°C より十分低く保つとともに、1.5°C に抑える努力を追求すること」が掲げられています。この達成には日本や欧米などの先進国だけでなく、グローバルサウスの国々における政策や経済のグリーン転換を後押しする必要があります。中でも、経済成長の著しい ASEAN や化石燃料の主要な産出者である GCC の国々が着実にグリーンな経済に移行することは世界全体の目標達成のために不可欠です。

MRI は2021年に UAE・ドバイ、ベトナム・ハノイに拠点を開設し、GCC および ASEAN における気候変動対策にかかる政策立案支援や関連プロジェクト組成を進めてきました¹。

2. 連携の概要

シンクタンクである MRI、国際機関である GGGI の双方の経験と知見を共有し、対象地域における気候変動政策の立案、民間企業の気候ファイナンスへのアクセス、技術導入や関連する人材育成、能力開発の取り組みを実施することに合意しました。

¹ 事例: [三菱総合研究所、カタール政府とのカーボンクレジット検討に係る協力を発表岸田首相中東3カ国歴訪における経済ミッションに参加](#) | [MRI 三菱総合研究所、三菱総合研究所との共同研究成果を ASEAN Centre for Energy が公表](#) [カーボンプライシングの影響分析と提言で脱炭素と経済成長の両立に貢献](#) | [ニュースリリース](#) | [MRI 三菱総合研究所](#)



3. 今後の予定

今般の覚書に基づき、MRIとGGGIはカタール政府の気候変動対策を支援するプロジェクトを開始しました。今後はカタール国における連携を基盤として、他のGCCやASEAN各国に広がります。

本件に関するお問い合わせ先
<p>【内容に関するお問い合わせ】</p> <p>株式会社三菱総合研究所 〒100-8141 東京都千代田区永田町二丁目10番3号 海外部 担当 中村、鶴飼 メール: gsd-contact@ml.mri.co.jp</p> <p>ドバイ支店 Unit 23, Level 3, Gate Village Building 04, Dubai International Financial Centre, P.O. Box 507032, Dubai, United Arab Emirates middleeast-office@ml.mri.co.jp</p> <p>【報道機関からのお問い合わせ】</p> <p>グループ広報部 メール: media@mri.co.jp</p>